

1. アンケート調査の目的/意図

TGCV治療法の実用化について参加者の方々からご意見をいただき、本研究事業推進の参考にさせていただく。

2. アンケート結果要約

アンケート回収の有効回答46名のうち、職種内訳では、医療従事者27名、研究者6名、企業関係者8名、その他3名（マスコミ、CRC、ARO関係者）であった。

中鎖脂肪酸を用いた難病治療の今後の実用化方法については①医薬品②特定保健用食品③病者用食品④その他 の4選択のうち、①の医薬品が23名（50%）②の特定保健用食品が8名（17%）③の病者用食品が6名（13%）①と③の両方が5名（11%）①②③の3つすべてが1名（2%）④その他が3名（7%）であった。

以上の結果より、今後の実用化方法としては①の医薬品による方法が最も多く、①及び複数選択を含めると全体の63%を占める割合であった。

3. アンケート結果

